

2018弘前ねぶたまつり

相馬ねぶた愛好会

弘前市長賞受賞 過去最高の栄光に輝く

8月1日～7日、今年も津軽の夏を彩る弘前ねぶたまつりが開催され、三国志や水滸伝などの武者絵を題材とした大小約80台の勇壮華麗なねぶたが城下町弘前を練り歩いた。

結成13年目となる相馬ねぶた愛好会は、今年も堂々たる姿で出陣し、見事8年ぶり、通算4回目の弘前市長賞を受賞した。また、相馬ねぶた愛好会は、弘前市長賞を受賞した3団体の内、最も得点評価が高く、結成以来過去最高の栄光に輝いた。8月2日の審査結果発表では、弘前市長賞受賞の一報と同時にねぶた小屋が歓喜に包まれ、会長が



佐久間 康幸 会長

胴上げされた。会員が一体となって喜びを分かち合う姿がとても印象的な1日となった。

今回の受賞を受けて、相馬ねぶた愛好会の現会長である佐久間康幸さん（五所地区）は、「この度の弘前市長賞受賞の栄誉を授けられましたのも多くの皆様方のご協力の賜物と存じ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今回の受賞を機に、これからも

鏡
絵「猪早太、短刀骨食にて鵠を討取る」

いのはやた

たんとうこつしよく

ぬえ

うちと

見送り絵

「雪中傘提げの娘」

せつちゅうかささ

むすめ



精進してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願います。」とあいさつした。

相馬ねぶた愛好会は平成18年、旧弘前市、旧相馬村、旧岩木町の3行政が合併して新弘前市が誕生したのと同時に設立。結成した初年度にいきなり弘前市長賞を受賞する快挙を成し遂げ、現在に至る。平成18年に相馬ねぶた愛好会を立ち上げた三上正人さん（当時会長）も今回の受賞の喜びを噛み締めていた。



見送り絵

相馬ねぶた愛好会 受賞歴

平成18年	弘前市長賞
平成19年	弘前商工会議所会頭賞
平成21年	弘前市長賞
平成22年	弘前市長賞
平成23年	弘前市議会議長賞
平成24年	弘前青年会議所理事長賞
平成25年	弘前観光コンベンション協会会長賞
平成26年	弘前観光コンベンション協会会長賞
平成27年	弘前観光コンベンション協会会長賞
平成28年	弘前市物産協会会長賞
平成29年	弘前観光コンベンション協会会長賞
平成30年	弘前市長賞

※本賞についてのみ掲載



町印を一新し、ヤーヤードーの掛け声を合図に堂々と初陣の審査に挑む



相馬保育所はと組の園児



全力で駆け回る



ジッチャもバッチャも見でけろじゃ！



角燈籠が舞う



大迫力の掛け声で先導



左右に張られた引綱に子どもたちが連なう

出陣

いざー！



勇壮な武者絵が夏の夜空を彩り、回転させるなどして観客を魅了した



力強い引手とともに大型ねぶたが前進



一糸乱れぬ音色が響き渡る



津軽の夏夜に笑顔が輝く



圧倒の動きで舞う